

平成30年度 学校経営理念及び学校経営全体計画（グランドデザイン）

大分県立新生支援学校

◎学校経営理念

<本校の使命>

「子どもの夢や願いの実現」
障がいのある子どもたちの卒業後の姿を共に考え、体験させ、実現する機会を可能な限り提供する

<目 標>

使命を実行することにより、一人一人の夢や願いの実現に寄与する

<基本理念>

「知的障がい教育の専門校として」

知的に障がいのある児童生徒及び知的障がいに他の障がいを併せ有する児童生徒に対し、専門的な教育を実践すること

「特別支援教育のセンターとして」

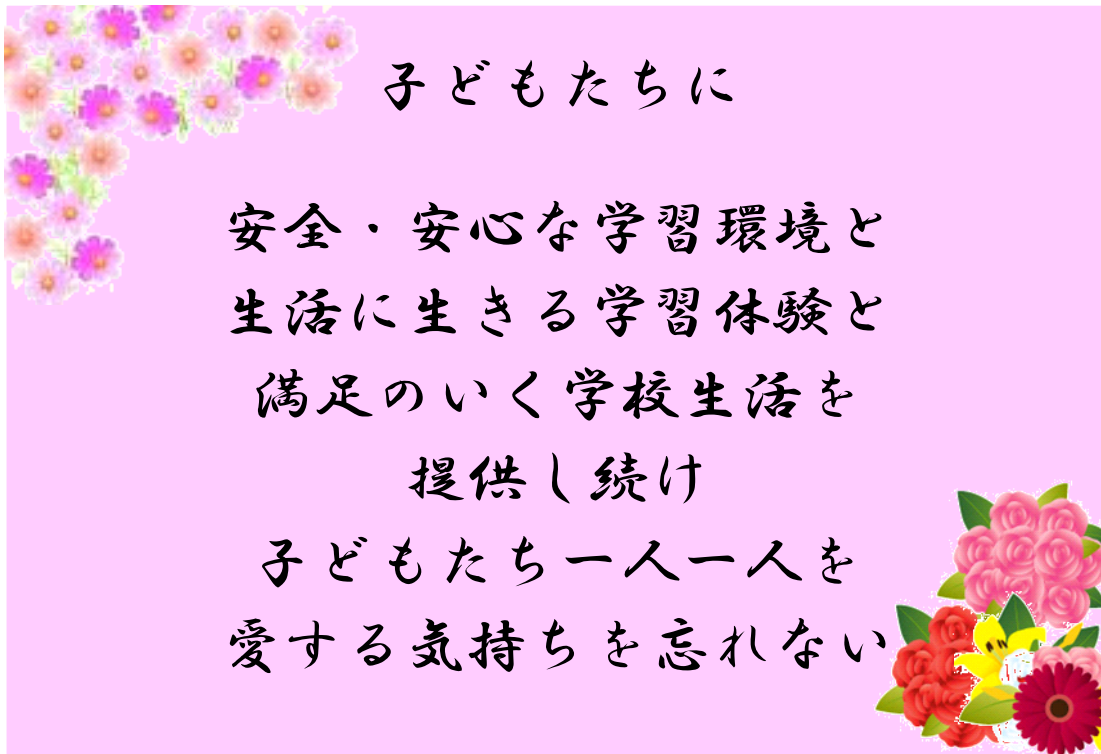
障がいにより困りのある幼児児童生徒の教育に携わる大分市西部地区の小・中学校等からの支援要請に、的確な援助ができること

「知的障がい者の支援センターとして」

卒業生及び地域に居住する知的に障がいのある方々に対して、可能な限りの支援ができること

<運営方針：キーワード「つなぐ」> 学年から学年へ→学部から学部へ→学校から社会へ

- ・使命を意識し行動する
- ・感動する教育（体験）を提供する
- ・発想と時間を大切にする
- ・子どもや隣人を愛し、コミュニケーションを大切にする
- ・常に夢を持ってポジティブに行動する
- ・職員間で学び合い高め合う
- ・働き方を見直す



◎学校経営全体計画

<学校教育目標>

一人一人の能力・特性に応じたきめ細かな指導を通して、豊かな心と健やかな体を育み、未来を自分らしく生き抜くために必要な資質と能力を培う

育てたい子ども像

明るい子ども	やさしい子ども	たくましい子ども
☆あいさつや返事がきちんとできる子ども ☆自分の思いや考えを伝えることができる子ども ☆誰にでも笑顔で接することができる子ども	☆相手の話を良く聞く素直な子ども ☆相手の立場や気持ちを考えて行動する子ども ☆決まりを守って行動する子ども	☆元気はつらつな子ども ☆何事にもチャレンジし、あきらめずにがんばり抜く子ども ☆学んだことを生活の場で生かすことができる子ども
中期目標		
①障がいの多様化、社会の変化（AI等の技術革新）に的確に対応できる、専門性のある教職員集団の構築	②キャリア発達を踏まえた小・中・高一貫教育の推進と、「自分らしく生き抜く力」の育成	③心身の健全な育成と、安全・安心な教育環境の整備・改善・充実

【平成30年度の重点目標及び基本的な取組】

（1）児童生徒の障がい特性の理解と的確なアセスメントを踏まえた、教科別の指導及び自立活動の指導の充実

児童生徒の指導に生かすアセスメント技術を向上させ、学習評価の在り方の見直しを行うことにより個に応じた指導をさらに充実させる

- * 校内の人的リソースを活用したアセスメント研修の実施
- * 全教員のアセスメント技術の習得（100%）と、技量の向上
- * 学びの精度を高めるための学習評価の工夫・改善（例：評価シート導入）



（2）児童生徒の卒業後の姿から導き出される、最近接領域課題の洗い出しと指導実践

「指導の手引き」を活用し、一人一人の取り組むべき課題解決に必要な指導内容を洗い出し、計画的な指導を通して卒業後を見据えた連続性のある教育を提供していく

- * 3年後の姿をイメージして、いま取り組むべき課題を洗い出し、「年間指導計画スタンダード」を活用して「個別の指導計画」を作成する
- * 「年間指導計画スタンダード」を活用して作成した「個別の指導計画」について保護者と合意形成し、課題達成率10割を目指す

（3）児童生徒の健康の増進と、災害時の対応を想定した校内態勢の整備

児童生徒一人一人の体力や健康を増進するとともに、地域のリソースを活用し地域に根ざした学校づくりを推進することにより、児童生徒が安心して学べる教育環境を整備する

- * 健康管理と運動による体力の増進を図り、感染症などの病気による欠席日数を各学部とも前年度より減じる
- * 災害時対応のため地域人材を把握し、雄城台地区防災ネットワークとの連携を強化するとともに「地域合同防災訓練」を実施する

